

お告げのマリア修道会



まごころ会

2023年7月
Tel.095-846-8300



「わたしは主のはしたためです。

お言葉どおり、この身になりますように。」

7月13日「生命尊重の日」

皆さん、この日をご存じですか？

日本では、昭和23年のこの日に「優生保護法」が制定され、平成3年に内容が見直され「母体保護法」と名称が変更されました。

現在、日本では年間14万人の命が中絶によって闇へと葬られています。生命尊重とは何を意味するのかを一人ひとりがあらためて考える必要があると思います。

1982年、マザーテレサは「日本は美しい国だが、中絶が多く心の貧しい国だ」と呼びかけました。これをきっかけに生命尊重センターが開設され、おなかの赤ちゃんとお母さんを守ろうという運動が始まりました。1993年には、一億人の日本人が一円ずつ寄付をしてみんなで支えていくと「円ブリオ基金」が創設され、募金によって、多くの赤ちゃんとお母さんを救われています。皆さんも募金箱を見かけたらご協力をお願いします。

ひと口1円 円ブリオ基金

エンブリオとは、8週までの胎児のこと。8週というと、胎身から胎児へと呼び方が変わるころ。身長は4cm、重さは1円玉と同じ1g、心臓はしっかりと動き、いつか見るまばゆい光を待っています。小さな命はサムシンググレートからの贈りもの。その命を助けるために、円ブリオ基金は皆様からひと口1円をいただき、出産費用をサポートしています。



まごころ会会員帰天、お祈りください

- ・ミカエル 浦越繁夫 古江教会
- ・ロ・ザビエル 黒川浩吉 神の島教会
- ・テレジア 山下京子 神の島教会



「総会からの新しい歩み」

「私は、キリストを映していますか」

〜 霊的遺産を携えてともに沖へ漕ぎ出そう



ラウダート・シの7つの目標

今年には教皇庁から、この提案がなされて

3年目を歩んでいます。

①地球の叫びへの応答

再生可能エネルギーを積極的に取り入れ、化石燃料を減らすこと、また生物多様性の保護、清潔な水を誰もが確保できるようにすること

▽ 私たちにできること △

- ・ 節電や再生可能エネルギーへの切り替え
- ・ 環境破壊を防止する活動への参加

・ 合成洗剤を使わない、自然に還る洗剤を使用するなどの工夫によって水質汚染をしない

② 貧しい人々の叫びへの応答

人間をはじめ、地球上の全てのいのちを、特に困難な状況に置かれている人々の命を守ることに

▽ 私たちにできること △

- ・ 労働者が搾取されない環境で作られたものを買う（フェアトレード）

・ 環境破壊の直接的な犠牲となっている貧しい国の人々のことを知り、それを阻止するための活動に参加する

◎ この他にも私たちにできることがあると思います。毎日の小さな取り組みが大きな結果につながります。